



緑化装飾の展示(2012.7.28 静岡市「あざれあ」)

目次

会長挨拶	P2
静岡県くらし・環境部長挨拶	P3
岩手県大槌町で緑の再生活動	P4
緑の相談所開設・緑化装飾の展示	P5
小さな大自然 テラス庭園の提案	P6
将来を考える機会に インターンシップ	P7
公共緑化施設管理の技術支援・地域コミュニティへの緑化技術支援	P9
みどりのわたより	
(静岡県環境ふれあい課)	P10
(静岡県みかん園芸課)	P11
(静岡県公園緑地課)	P11
(静岡県造園施工管理技士会)	P12
平成24年度通常総会	P13
建産連会長表彰	P14
活動等の新情報・協会日誌	P15
冬の壁面緑化モデル施設	P16

ご挨拶

公益社団法人静岡県造園緑化協会会長

片桐 利男



暑中お見舞い申し上げます。

鬱陶しかった梅雨が明けたかと思ったら酷暑と厳しい毎日ですが、原発の影響で節電が強いられ暑さ対策も大変な夏となりました。また今年は活発な梅雨前線の活動で、記録的な大雨を降らせ、特に熊本県、大分県などでは、「九州北部豪雨」と名付けられた豪雨により河川の氾濫、家屋の流失や尊い人命までも奪われるという近年にない大惨事を招きました。

毎年のように発生するこのような災害から美しい日本の山河を守り続けることは並大抵のこ

とではありません。そのための治山治水事業は重大であります。

今年度より私も協会は公益社団法人として新しく発足致しました。これからは、今まで以上に国土保全のためにも環境緑化の推進、保全と社会貢献に積極的に参加し活動して参らねばなりません。昨年の東日本大震災では社会貢献救済活動として岩手県にて一週間にわたり瓦礫の撤去片づけ作業に従事して参りましたが、今年も引き続き協会員十八名が岩手県大槌町を訪れ、今回は被災地の美しい緑の再生を願う祈念植樹祭が開催されることを受けて参加致しました。静岡県より持参した土とハナモソの苗木約五十本を支柱を添えて地元の方々と一本一本丁寧に植え、立派に生長して綺麗な花が一杯咲き人々に安らぎを与えてくれることを願いつつ帰ってまいりました。

さて、今年は新時代の幕明けともいえる待望の新東名高速道路が四月十四日に静岡県内の

御殿場JCTから三ヶ日JCT間が開通致しました。新装なったSAには大変な人出で大賑わいでした。弊社も商業施設工事二箇所の緑化工事を請け負い施工致しました。契約当初より開通日が早まり後半は従業員総出の突貫工事となりましたが、無事開通に間に合うことができ、安堵致しました。今開通になった新東名高速道路を走行して施工現場に立ち寄りますとあの懐かしかった工事も懐かしく思われ従業員からも新東名工事の施工は自分たちの子供にも語り継がれると大変喜んでもらいました。

私ども業界も大変厳しい社会状況下ではあります。公益社団法人としての使命達成のためにも環境緑化を通じ広く社会に貢献できる静岡県造園緑化協会を目指して一層の努力をして参る所存であります。

ご挨拶

静岡県くらし・環境部長

伊熊 元則



公益社団法人静岡県造園緑化協会会員の

皆様におかれましては、日ごろから緑豊かな住みよい県土づくりや緑化技術の発信など本県の緑あふれる生活環境の創造に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

また、貴協会は平成二十四年四月から公益社団法人として新たな一歩を踏み出されました。今回の公益社団法人への移行をお祝い申し上げますとともに、一層の御活躍を期待しております。

さらに、昨年、貴協会が東日本大震災による

がれき撤去などの復興支援活動に協力いただいた岩手県大槌町を今年五月に再び訪れ、現地での植樹活動に参加されるなど、被災地の継続的な復興支援に取り組まれておりますことに對しまして、心より敬意を表します。

さて、近年は、大型台風が発生をはじめ、豪雨や竜巻といった異常気象の頻発など、これまでの常識では考えられない程の大雨や突風が日本列島を襲っております。

昨年九月の台風十五号や今年六月の台風四号により、県内では大きな被害が発生いたしました。また、県外においても茨城県で発生した竜巻や西日本を襲った梅雨前線による豪雨で尊い人命が失われたり、多くの家屋が被害を受けたりしました。

これらの災害では、公園の樹木や街路樹の倒木などの被害も数多く発生するとともに、貴重な街の緑が失われており、樹木をはじめとした都市の緑の管理の重要性が増しているところ

です。

県といたしましては、貴協会と連携して、緑の持つ「やすらぎやうるおいの提供」「気温緩和」などの多様な機能や街の樹木の腐朽診断等による効率的、効果的な管理方法などの普及啓発を進め、街の緑の持続的な管理が図られるよう努めてまいりたいと考えております。

こうした緑化施策を展開し、緑豊かなふじのくにづくりを推進していくためには、専門技術を備えた貴協会のお力添えが必要でありますので、会員の皆様方におかれましては、今後とも御協力いただきますようお願い申し上げます。結びに当たり、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。



岩手県大槌町で緑の再生活動

昨年の三月十一日、世界が

被害を受けたといえます。

驚愕した東日本大震災は、尊い生命、財産とともに街の緑を消し去り、また同時に発生した火災により、周辺の森の緑を燃やしました。大槌町では、300haの森林が火災の

かつての町の中心地は、瓦礫や被災した建物は、すっかり撤去されたものの、その跡には雑草が生い茂り、人の生活の気配はありません。こうした中で、企業、NP



業を盛り込みたいと考えており、緑の再生はその大きな一つ」と挨拶されました。式の後、協会が土砂の撤去を行った大槌保育園の園児とともに町の緑の再生を祈りつつヤマモモを持参した土で丁寧に植付ました。



植付後、竹の支柱に固定し、生長を折って植樹は無事終了しました。

終了すると、復興で支援してくれた静岡県並びに当協会への感謝の意味ということで園児たちがエグザイルの歌に

明くる二十五日、植樹会場に早朝に到着し、植樹準備を行い、準備が整う頃植樹式がスタートしました。植樹式の会場は、当協会が、昨年の瓦礫撤去活動の拠点、駐機場所とした「浄化センター」です。



合わせ元気に踊ってくれました。

最後に当協会の片桐会長が一日も早い復興と緑の再生を祈念すると挨拶して植樹祭は終了しました。



2012年5月25日の大槌町

Oなどが大槌町に森林を再生する取組を働きかけ、そして、このたび、再生事業の推進を祈念して植樹祭が開催されることとなりました。この植樹祭に緑に関わる当協会も参加することとなりました。

植樹祭の前日、5月24日18人が5台の車輻などに分乗し10時間以上をかけて現地へ向かいました。トラッ

式の最初に、碓川豊大槌町長が「町の再建では、海の見える思わず散歩したくなるこだわりのある「美しいまち」をつくるための事業や災害の記憶を風化させないための事



この植栽から2カ月後の7月30日、大槌保育園を訪問した松浦伊佐雄氏（向松浦造園）は、植栽したハナモモの様子も見てきてくれました。植栽時の状況やその後の猛暑、塩害など心配していましたが、幸い、すべて活着していたということです。



緑の相談所開設

樹木のこと
気軽に相談を

樹木は生き物です。このため、季節に応じた管理が欠かせませんが、これが大変なことのようです。

家庭の緑も地域環境にとって大切な緑です。生き生きとして美しい緑を育てていただくため、相談所を開設し

樹木に関する相談に応じています。この相談所は、各市町の緑のイベントに参加して開設しているものです。

今年の春は、三島市、伊豆の国市、沼津市、富士市、静岡市、浜松市、藤枝市、吉田町、浜松市の11箇所、延べ15日間開設し、多くの方から庭木の剪定や病気などの悩みをお聞きし助言をしました。

秋には、三島市、伊豆の国市、沼津市、富士市、富士宮

市、静岡市、浜松市などで再び相談所を設ける計画です。県民の皆さんの相談をお待ちしています。



緑化装飾の展示

暮らしに緑を



七月十四日の土曜日、静岡市の青葉イベント広場で、一般社団法人静岡県建設産業団体連合会が主催して「まちづくり2012 ふれあいイベント」が開催されました。当協会でもこれに参加、会場の入口を緑化装飾で飾りました。暮らしの中の緑も多様な

形があることを知っていただこうと展示したものです。

この装飾はモザイクカルチャーの技法により「ひまわり」「ひまわり」を造形したもので、植物は「アキランサス」「イレシネ」「タマリユウ」の3種を使いました。

この緑化装飾は、行事終了後、静岡市駿河区馬淵の「あざれあ」玄関付近に七月中展示させていただきます。

（中部支部）



小さな大自然 テラス庭園の提案

「花・緑タウンフェアin浜松2012」で



3月2日(金)～4日(日)、浜松市の駅前周辺でフェアが開催されました。

協会では、新川緑地において、・・・小さな大自然・四季を楽しむ花と緑の庭園・・・をテーマとした庭園を提案して、身近な緑の環境づくりへの啓発を行いました。

残念ながら、期間中はあいにくの天気で、肌寒く来場する方も少ないという結果とな

りました。

それでも、およそ四百人の皆さんにアンケートにお応えいただけただけことは、大きな成果で、今後の環境緑化、造園施工に役立てていきたいと思

います。

また、同時に「プレスタワー」で開催した、「花と樹上手に育てるセミナー」には、定員を上回る申し込みがあり、花や樹の育成管理のご

労苦、高い関心をうかがい知ることができました。

今年、11月23日(金)から25日(日)には、沼津で「花・緑タウンフェアin沼津2012」が開催されます。

協会でも、庭園の展示と緑の相談所を開設する予定です。皆様のご来園をお待ちしています。

(西部支部)



将来を考える機会に

県立静岡農業高等学校のインターンシップ

平成24年1月31日から2月3日の4日間、静岡農業高等学校の環境科学科2年生25人が会員企業13社でインターンシップを行いました。

今回3人の生徒さんから体験報告を提供いただきましたのでご紹介します。

（中部支部）

環境科学科2年 沖 和紗

【実習先 柳飯田庭園】

4日間ありがとうございました。造園の仕事は、実際にやってみると、思っていたものよりもはるかに大変で重労働でした。しかし、自分には、デスクワークのように一日中パソコンに向かっているような仕事よりは、実際に動いたりする仕事のほうが合っているように思いました。また、作業の合間には、剪定

のやり方など技術的なことも教えていただきました。説明も丁寧でとてもわかりやすかったです。

自分がこの4日間で行ったことは、造園という仕事のほんの一部だけで、それでも造園という仕事が主に外で行う仕事であるが大変さ、体を動かす仕事であるが故の楽しさなどがよくわかりました。

自分は、まだ将来について



写真①

しかし実際に作業をしている人たちは、木を掘る作業が自分たちとは比べものにならないほど速かったので、とても驚きました。植える時は、授業で行ったことを思いだしながら行いました。しかし実際に行くと掘る作業に時間がかかり、とても大



写真②

変でした。これは（写真②）、城北公園で切った木を片付けている時の写真です。

枝は人の手でトラックの荷台に乗せ、幹の部分は大きなクレーン車でつり上げて、荷台に乗せました。この作業



写真③

は、自分が4日間で行った作業の中では、一番大変な作業でした。切った木が大きかったこともあり、木の枝は思っていた以上に重く、量も多かったため、トラックに運ぶのも大変でした。それに乗っとうみながら、すごいと思いました。

環境科学科2年 渡邉 侑規

【実習先 櫛市川造園】

私が今回のインターンシップを通して感じたことは、剪定作業の大切さです。

道路に植えられた街路樹の剪定は、道にはみ出ないように

に切らなければならぬ上に、景観のこともしっかりと考えて剪定しなければなりません。

また、街路樹は剪定しないと標識や信号が見辛くなったります。剪定の仕方は学校で習いましたが、実際に仕事として始めると全く通用せず、事業所の方達に大変迷惑をかけてしまいました。

気温も低く、風の強い中で作業でしたが、今回の実習は、進路を決める上で大きな経験となりました。今回の貴重な経験を活かして進路決定をしていきたいと思えます。

この写真(写真③)は、用宗の川原通りで街路樹の剪定をしているところです。街路樹の剪定は、樹木の剪定後の形、景観、信号は見やすいかなど、このことを意識して行わなければならない、指導者の方に教えていただいたことを実践するだけで手一杯でした。

「自分一人で一本の木をどう切るのかを考えて剪定できるようにになったら凄く楽しい」という言葉が印象的でした。

この写真(写真④)は日本平公園でヤマモモの木を剪定しているところです。ヤマモモの木は折れやすく、足場を一つ一つ確保することが大変でした。

頭頂部の剪定では、切りすぎて少し穴を空けてしまいました。そこで、全体をバランスよく切ろうと意識しすぎると小じんまりとしてしまい、改めて剪定の難しさと奥深さを実感した一日でした。

環境科学科2年 長坂 光祐

【実習先 榎藤造園】

このたびは、貴重な実習体験をさせていただき、ありがとうございます。

一日目の私はとても緊張していました。

しかし仕事場の人達はそんな私を温かく迎えてくださいました。

私がこの4日間を目にしてきたのは、仕事場で働く皆様の真剣な姿でした。

そして、それを私は、実習を通して肌で感じることができました。

私は、ほんのわずかでしたが、私はこの体験をととても貴重なものだと思っています。

個人的には二日目の竹垣がとても大変でした。

しかし、それを達成したときの喜びは、今でも覚えています。

この作業での大変さ、そして達成したときの喜び、その全てが貴重な体験です。

私は、このことを今

後の生活、また今後の進路に活かしていきたいと思えます。ありがとうございます。

この写真(写真⑤)は移植している写真です。僕は土を掘るところしかしていませんでしたが、現場の人たちは、大きな木を何本も機械を使って移植していました。

土を掘るとき、根の奥のほうまでスコップを入れるのにとても力を使いました。気温が低かったのに、この体を動かす作業でとても暑くなりました。

した。根を傷つけないように掘るのはとても大変でした。

この写真(写真⑥)は剪定をしている写真です。学校の木よりも規模が大きく、高いところまでいくと、とても恐かったです。でも、現場の人の教えがあったおかげで、とてもスムーズに剪定することができました。

出来上がった木を見たときに、一つの達成感がありました。全体が丸くなるように切っていくことがポイントでした。それがとても大変なところでした。



写真④



写真⑤



写真⑥

公共緑化施設管理の技術支援

焼津港小学校の校庭芝生化

平成24年2月4日（土）の早朝、焼津市立港小学校育成会（PTA）の皆さんに、校庭の芝生整備と管理に関する技術指導支援を行いました。

育成会は、芝生整備で財団法人静岡県グリーンバンクの緑化グループ支援事業の支援をいただき、今回の指導支援と合わせて実施しました。

当日は、育成会から18人と子供たち、協会から8人が参加し、最初におおまかな整備方法や管理について説明した後、実際に芝張作業を行っていただき、この作業を通じて、技術を学んでいただきました。



りかなり衰退していました。今回の芝生整備は、300㎡で、子供たちが頻繁に通うところでは避けず整備することとしました。

この技術支援は、毎年県内で1箇所を実施する計画ですが、ご希望がありましたら、協会にお電話でご相談ください。（中部支部）



地域コミュニティへの緑化技術支援

富士宮市立病院の癒しの空間づくり

平成23年12月から、協会員も加わる市民団体「富士宮いやしの空間プロジェクト」は、富士宮市立病院中庭の再整備として、和風庭園の整備を始めました。

この中庭は、薄暗く殺風景で利用者が少なかったことから、緑豊かな空間に改良することとなりました。

植栽には、日陰に比較的強

いツバキ、サザンカを中心に56本の樹木を選びました。2月には述べ40人のボランティア、病院職員による土入



れ、植栽作業が行われ、この時には、協会の会員が地域コミュニティの緑化活動支援として技術指導を行い、中庭は、癒しの空間として生まれ変わりました。この支援に関するご希望、お問合せは、協会までお電話ください。（東部支部）





静岡県・静岡県教育委員会

「ふじのくに環境教育基本方針」

公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

■公園でできる環境教育

公園は身近な自然の宝庫です。公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

少ない労力でたくさんのお花を鑑賞することができます。公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

■持続可能な社会の実現を目指す

公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

■持続可能な社会の実現を目指す

公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

■持続可能な社会の実現を目指す

公園には樹木をはじめとして様々な植物や昆虫、動物が生息しています。これらを学習素材として活用すること

みどりのおたより

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課

環境教育では身近な自然とのふれあいを大切にしています

■新たな環境教育基本方針の策定

県と県教育委員会では、環境教育の推進を図るための長期的な基本方針「ふじのくに環境教育基本方針」を本年3月、新たに策定しました。

■公園は身近な体験の場

街中や郊外に整備された都市公園や自然公園には、身近な自然が保全されています。動植物の観察・解説や、季節の変化などを体感する体験活動を通じて、身近な自然の美しさや不思議さ、いのちの大切さなどに気づいたり、理解したりするための環境教育を行う場として、公園はすばらしい場所です。



公園等で行われる環境教育



「スミレの閉鎖花」



「スミレの開放花」

を残すことができます。一面にスミレが咲くのはこの閉鎖花によって作られた種子によるものです。スミレは個体を残す方法として多様性よりも確実性を求めた植物なのです。身近な存在であるスミレのこのような生態について分かりやすく解説し、自然への興味を育てる機会を設けることで、自然や環境についての理解を深め、環境のために行動することへの学びへと繋げることが後押しするのが環境教育です。

県は県民一人一人の意識の変革により、環境負荷の少ない暮らし方や環境に配慮した事業活動が、社会に定着するために環境教育の推進に取り組めます。静岡県環境局環境ふれあい課は、県民の皆さまにおかれましては、専門家としての知識を地域の学習に活用いただき、子どもたちをはじめとする全ての世代の人々に、自然のすばらしさや人間にとって自然がいかに大切であるか。また、環境の保全のためには人間が関わらなければならぬことを伝えていく活動を、県とともに取り組んでいただきたくお願いいたします。

054-2211-2919

今年度は沼津で開催します！ 「花・緑タウンフェア in 沼津2012」

3月2日（金）から4日（日）までの3日間、JR浜松駅周辺の市街地で、花と緑のイベント「花・緑タウンフェア in 浜松2012」を開催しました。あいにくの雨にもかかわらず、たくさんの方々に花と緑がいっぱいの街歩きをお楽しみいただくことができました。

今年度は、11月23日（金・祝日）から25日（日）までの3日間、JR沼津駅南口周辺の商店街などで、「花・緑タウンフェア in 沼津2012」を開催します。ショッピングや食事に商店街を訪れる皆様に、楽しく花と緑にふれあっていただきたいと思います。

生産者が丹精込めて育てた自慢の花を観賞できる「静岡県花の展覧会」はもちろん、フラワーアレンジメントや押花を使った小物作りなど花と緑の様々な楽しみ方を学ぶことが出来る各種体験教室、花・緑や地元の特産品を即売するマーケット、庭の展示、園芸や花木のお悩みに関する相談会など、様々な催し物を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

どんなでもお楽しみいただけるイベントですので、是非、会場へ足をお運びください。沼津のまちなかで「きらめく秋」を見つけましょう！詳しくは、県庁みかん園芸課（電話0544-22112679）にお問い合わせいただくか、ホームページを御覧ください。

(<http://hama-nidori.org>)
「花・緑タウンフェア」で検索できます。）



真剣勝負を闘って観戦！ジャパンフラワーオープン



息をのむ美しさ！静岡県花の展覧会



季節の花・緑を楽しもう！
通りの装飾



花と緑で魅力アップ！商店街のお店

開催日時 平成24年11月23日（金・祝日）～25日（日） 午前10時～午後5時

テーマ きらめく秋 めくもりの街 ぬまづ ～暮らしを彩る花・緑～

会場 JR沼津駅南口周辺の市街地（仲見世通り、さんさん通り、富士急百貨店、中央公園ほか）

主な内容 静岡県花の展覧会（23日～25日午前）、花のファッションショー（24日午後）、花のせり販売（25日午後）、花と緑のストリート装飾、店舗装飾ワークショップ、園児たちのコンテナガーデン展示、花と緑のマーケット、体験教室、庭の展示、花・みどり園芸相談会

※フラワー装飾技術のコンテスト「第4回ジャパンフラワーオープンINしずおか2012沼津」が同時開催されます。

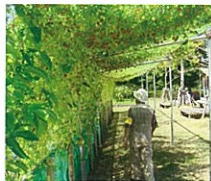


県営遠州灘海浜公園は、県西部地域における県民の皆様へのスポーツ、レクリエーション需要に対応するため整備した豊かな自然環境に恵まれた公園です。

本公園では、この豊かな自然環境を利用し、小学生を対象とした「こども自然学校」（EiNaクラブ）を実施しており、一年を通して園内で見える事ができる野鳥、昆虫、植物などの自然観察会を中心

県営遠州灘 海浜公園の紹介

静岡県交通基盤部
都市局公園緑地課



とした環境教育、園内の畑を使い自らの手で野菜作りに挑戦し収穫した野菜を食する食教育、また、公園に木陰が少ないことから、畑に隣接して、フウセンカズラやパッションフルーツ、今年はひょうたんを植えて緑のカーテンを作成し、公園利用者に快適な木陰を提供するなど様々な体験イベントを行っています。

す。

さらに、一般の公園利用者を対象とし、年間を通じて、いろいろな体験イベントも行っており、自然生態観察園を中心とした園内バードウォッチングを年4回、寄せ植え教室、ノルディックウォーキング、セミの羽化観察会、竹の水鉄砲作り、ネイチャークラフト、クリスマス飾り作り、門松作り、羽子板作り、竹馬作り、昼・夜の天体観望会、愛犬との暮らし方教室、一番の人気の熱気球プチ体験搭乗会など数えきれないほどの体験イベントを行っています。

また、月に2回ほど開くリサイクルフリーマーケットも好評で、早くから熱心な人が訪れ、お店が開くのを待っています。

その他、春と秋には浜浜公園祭りを開催しており、今年の春には、イベント開始以来はじめて4月28・29・30日の3日間開催し、遊びの広場や春の風コンサート、クラフト教室、物産展、アートフェア、



リサイクルフリーマーケットを行い、多くの人でにぎわいました。

今後、9月29・30日の2日間、秋の浜浜公園祭りを開催する予定です。わんわん秋祭り、遊びの広場、地元のアマチュアのバンドや演奏家たちの発表の場として秋の風コンサートなどを行う予定です。

で、皆様、お友だちを御誘いの上、ぜひ、お越しください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

○ホームページ

<http://www.shimada-city.jp/index.html>

○電話

053-1421-6775

○FAX

053-1421-6778

静岡県造園施工管理技士会

技士会 今年の活動計画

事業の決算と計画

24年度総会は、過去の出席状況などから、書面総会に替えて、7割を超える回答をいただき、議案も会員数の過半数を超えてご承認をいただきました。

事業実施計画

本年度は会員の皆さんの期待に沿える事業を実施したいと計画を詰めているところであります。まず、11月には箱根湯本の「ヤマダ電機研修棟」及び「迎賓館日本庭園」を明星大学教授の榎原八朗氏の解説をいただきながら視察する研修を計画しています。また、2月頃には、「松くい虫予防剤樹幹注入研修」(仮称)を実施したいと考えています。このほか、会員のご希望に応じた講習、研修を実施したいと思いい、ご意向を伺うアンケートを実施します。このアン

ケートが届きましたら、ご回答にご協力お願いします。

受験対策講習会

毎年実施してまいりました「造園施工管理技士」の受験対策講習会は、受講希望者が少なく、本年度は実施することを諦めました。少ないとはいえ受講希望者には心よりお詫言ひ申し上げますとともにご健闘をお祈りします。

表彰

5月31日(水)静岡市の産業経済会館で開催された静岡県建設産業団体連合会通常総会の席上、山本哲也氏(袋井市(有)山本造園)が人材育成に對する功績が認められ表彰されました。



平成24年度通常総会

昭和57年に設立した社団法人静岡県造園緑化協会は、本年4月1日、公益社団法人に移行いたしました。本年は、設立時から30年が経過して新たなスタートの年になります。その記念すべき最初の総会を、4月27日（金）、静岡市内のグランディエールブテローカイにおいて開催致しました。

総会は、会員106名中65名の出席、委任状27名の合計92名で開会しました。

●開会

高林久雄副会長の開会宣言



きたい。」と挨拶致しました。続いて、造園、緑化業界の発展に功績のあった次の方々

●表彰

窪野 全志 様
株式会社大瀬造園

後藤 智久 様
株式会社植正園

渡邊 豊 様
株式会社富士見園

有限会社昭花園 様

を表彰致しました。

また、昨年、国土交通大臣顕彰、知事褒賞を受けた方々を顕彰、記念品を贈呈致しました。

なお、寺尾様はご都合によりご出席いただけなかったため、後日、贈呈致しました。

優秀施工者国土交通大臣顕彰
角皆 晋也 様
田旗造園建設株式会社

静岡県優秀施工者知事褒章
寺尾 幸藏 様
株式会社小澤造園



●来賓挨拶

ご多用のところご臨席賜りました静岡県議会くらし・環境委員会の小長井由雄委員長

様、前林孝一良副委員長様をはじめ13名のご来賓の皆様を代表し、小長井由雄委員長様並びに静岡県くらし・環境部長伊熊元則様より都市の潤いある生活環境、環境緑化推進への期待、業界の発展に向けた激励のお言葉を頂きました。



●議事

片桐会長を議長に選出し議事にはいりました。

●議案は、

「平成23年度事業報告書及び財務諸表等承認の件」

「平成24年度入会金及び年会費の額並びに納入時期及び納入方法決定の件」

※なお、「平成24年度事業計画、収支予算」は、公益社団法人化に伴い、前年度末までに決定する必要がある、理事会承認事項となりました。

「定款変更承認の件」

※主に字句の修正に伴う変更です。

「役員報酬規程制定承認の件」

※公益社団法人化に伴い、総会承認事項となりました。

「役員選任の件」

※任期満了に伴う選任です。

の5議案で、審議の結果、原案どおり承認決議されました。

新役員

理事

工藤 友男

半田 健治

赤池 弘源

源平 剛士

西野 元

森 康博

櫻井 淳

片桐 利男

八ヶ代 幸一

高林 久雄

内田 直義

熊崎 実

川崎 順二

中島 公望

山崎 巖

山本 英夫

小林 昭二

監事

山本 英夫

(就任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

(重任)

●閉会

櫻井淳副会長が、5月25日に岩手県大槌町において、植樹活動を行う計画を進めており参加をお願いするとともに閉会の宣言をして、総会は閉会致しました。

●会長、副会長等の選任

総会終了後、同所て理事会を開催し、定款第14条第2項に基づき、会長、副会長等を次のとおり選出致しました。

会長選出では、片桐氏の続投要請に対し、氏は強く辞退されたものの、公益法人化や東日本大震災支援の功績などから続投を望む意見が多数出て、採決をし片桐氏に決定しました。

●懇談会

理事会終了後、同所て会員等92名が参加し、懇談会を開催しました。立木前副会長のご発声で宴は始まり、情報交換や懇親を深めていただきました。

●懇談会

理事会終了後、同所て会員等92名が参加し、懇談会を開催しました。立木前副会長のご発声で宴は始まり、情報交換や懇親を深めていただきました。

●懇談会

理事会終了後、同所て会員等92名が参加し、懇談会を開催しました。立木前副会長のご発声で宴は始まり、情報交換や懇親を深めていただきました。

●懇談会

理事会終了後、同所て会員等92名が参加し、懇談会を開催しました。立木前副会長のご発声で宴は始まり、情報交換や懇親を深めていただきました。

●懇談会

理事会終了後、同所て会員等92名が参加し、懇談会を開催しました。立木前副会長のご発声で宴は始まり、情報交換や懇親を深めていただきました。

●懇談会

理事会終了後、同所て会員等92名が参加し、懇談会を開催しました。立木前副会長のご発声で宴は始まり、情報交換や懇親を深めていただきました。

●懇談会

理事会終了後、同所て会員等92名が参加し、懇談会を開催しました。立木前副会長のご発声で宴は始まり、情報交換や懇親を深めていただきました。



公益社団法人静岡県造園緑化協会
理事長 片桐 利男

副会長 赤池 弘源

櫻井 淳

高林 久雄

源平 剛士

西野 元

森 康博

櫻井 淳

片桐 利男

八ヶ代 幸一

高林 久雄

内田 直義

熊崎 実

活動等の新情報

樹木の育成管理・ 診断技術講座の開催

近年、都市の緑化施設の樹木は、生長するとともに強風等により倒れることが多く見受けられ、樹木が衰退している懸念もあります。

協会では、樹木の管理、腐朽病害、樹勢・腐朽診断、診断実践などをテーマに隔日で5日程度の技術講座を会員、公共緑化施設管理者の皆様を対象として開催する計画です。

確定している講座は、11月1日(木)に東京農業大学の濱野教授による「環境と樹木、その育成管理(仮題)」をテーマとした講座ですが、



調査結果から、管理のヒントが得られ、都市の緑の充実に役立てばと思います。

また、伊東市でも調査を進めており、近く計画書をまとめる予定で、ここは常緑化が進み薄暗く、人々が気軽に入り、楽しめる場ではなくなりつつあります。子供たちにも安全な森にできたらと考えています。

樹木と気温緩衝及び 生育状況調査の実施

静岡県から、緊急雇用創出事業による樹木と気温緩衝や生育状況等の調査を受託致しました。

現在、公園や街路樹などの周辺で温度湿度を測定しており、緑のカートンによる室内気温や簡易腐朽診断や樹勢診断により生育状況も調査する計画です。

詳細が固まりましたら皆様にご案内します。



都市近郊の緑の保全 森の力再生を

本年度、静岡県の「森の力再生事業」による都市近郊の緑を再生しようと取り組んでいます。

袋井市では、竹林化が進む近郊林を明るい広葉樹林化していく計画で準備を進めています。



協会日誌

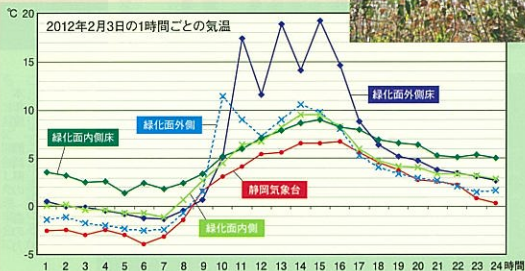
年月日	行事又は会議	年月日	行事又は会議
平成24年		5月14日	第1回花・緑タウンフェア実行委員会
1月 5日	新年ご挨拶	24日	防災防静岡県支部代議員会
1月12日	(社)静岡県建設産業団体連合会新年賀詞交歓会	25日	若手県大橋町森林再生事業折念植樹祭
2月 2日	技術委員会	30日	静岡県緑の会監査
2月17日	(社)静岡県緑化推進協会理事会、総会	31日	一般社団法人静岡県建設産業団体連合会第2回理事会、定時総会
21日	第2回花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議	6月 4日	[花・緑タウンフェアin沼津2012]第2回企画運営協議会
23日	富士山の日フェスタ 2012	18日	公益社団法人静岡県緑化推進協会理事会、総会
3月 2日	花・緑タウンフェアin浜松2012(～4日まで)	21日	財団法人静岡県グリーンバンク第1回理事会
15日	第36回全国育樹祭静岡県実行委員会	21日	静岡県森林・林業研究センター振興協議会幹事会
22日	(財)静岡県グリーンバンク第2回理事会	21日	静岡県緑の会通常総会
23日	第4回理事会	22日	技術委員会
26日	花・緑タウンフェア実行委員会第3回幹事会	28日	花・緑タウンフェア実行委員会第1回幹事会
4月 1日	公益社団法人設立登記	7月 4日	啓発労働委員会
11日	静岡県都市緑化推進対策事業検査	25日	第2回花・緑タウンフェア実行委員会
12日	平成23年度監査	25日	静岡県巨樹と森林文化の会総会
17日	総務企画委員会	26日	芝生緑化推進部会
19日	第1回理事会、新役員候補者会議	8月 6日	静岡県森林・林業研究センター振興協議会総会・役員会
27日	平成24年度通常総会、第2回理事会	6日	浜名湖花博10周年記念事業等実行委員会設立準備会
5月 9日	一般社団法人静岡県建設産業団体連合会理事会	9日	第5回静岡県景観審査委員会(書類審査)
10日	防災防静岡県支部主任・団休安全指導者会議	20日	第1回花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議
11日	美しいずおか景観推進協議会総会		

冬の壁面緑化モデル施設

酷暑の夏、気温を和らげる目的で設置される壁面緑化。常緑の植物で設置した壁面緑化は、寒い冬、今度はマイナス面が心配です。そこで、冬の寒い一日の温度を調査してみました。



壁面緑化は、常緑が主体に植栽してありますが、半常緑のモッコウバラが葉を落として、1月25日の被覆状況(右の写真)は、写真の点格子による計測では84%でした。



2012年2月3日の1時間ごとの気温

単位 °C

時刻	静岡気象台	緑化面外側	緑化面内側	緑化面内側	緑化面内側
1	-2.5	-1.4	0.1	0.5	3.6
2	-2.4	-1.1	0.2	0.0	3.2
3	-2.9	-1.7	-0.3	-0.1	2.9
4	-2.4	-2.0	-0.3	-0.4	2.6
5	-2.9	-2.3	-0.7	-0.8	1.4
6	-3.9	-2.5	-0.7	-1.2	2.4
7	-3.1	-2.4	-1.1	-1.3	1.8
8	-1.4	-0.7	0.7	-0.4	2.4
9	1.7	1.6	2.7	0.7	3.4
10	3.1	11.4	4.5	5.1	5.2
11	4.2	9.0	6.4	17.4	6.0
12	5.5	7.3	6.8	11.6	7.1
13	5.6	9.0	8.2	18.9	7.9
14	6.6	10.6	9.5	14.1	8.7
15	6.6	9.8	9.5	19.2	9.0
16	6.8	8.1	8.3	14.6	8.2
17	5.6	5.3	6.0	8.8	8.0
18	4.6	4.1	4.8	6.4	6.9
19	3.8	3.4	4.2	5.2	6.6
20	2.8	3.0	4.1	4.8	6.4
21	2.6	2.7	3.4	3.8	5.3
22	2.3	2.1	3.4	3.5	5.1
23	0.9	1.5	3.2	3.1	5.4
24	0.4	1.7	2.9	2.7	5.0

2月3日は、静岡気象台で2月の最低気温を示した日で、当日は、天気は昼夜とも快晴、風は平均1.9 m/sでした。

当然ながら、昼間は0.3℃から2.6℃(10時のみ故か6.9℃)緑化面の内側は低くなっていました。しかし、夜間は逆に1℃程度高く保温されているような状況です。

なお、建物関係者からは、「暗い」、「寒い」などの苦情は寄せられていません。

(技術委員会)

平成24年8月30日発行

発行 公益社団法人 静岡県造園緑化協会 〒420-0031 静岡市葵区泉町2丁目2番地 泉町ビル4F
TEL 054-253-0586 FAX 054-251-9205 ホームページ <http://www.kenchikunavi.ne.jp/220304/>
編集 静岡労働委員会 題字 桑松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会とは、この「ふじのくに森の町内会」の協を以て、林地に捨てられる間伐材を資源として活用し、静岡県民の豊かな森林づくりをサポートしています。